

「ウイニングステップ小学6年理科①生物・地学 改訂新版」に誤りがありました。

以下のように訂正し、深くお詫び申し上げます。

【1刷】

●P.50

第3回 人体 レベルB 入試問題演習 1 問6 表

(誤) 二酸化炭素 4.21 →(正) 二酸化炭素 4.21%

●P.120

第4回 地層と岩石 レベルC 解答・解説 3 問4 イ

(誤) 720 →(正) 240

【1・2刷】

●P.97

第6回 天体 レベルA 入試問題演習 1 問5

(誤) 日の入りのときに、南西の空に見える月の位置を図の中の番号で選び、またそのときの月の形を問4の㊸～㊼の中から選んで記号で答えなさい。

(正) 日の入りのときに、南西の空に見える月の位置を図の中の番号で選び、またそのときの月の形を問3の㊸～㊼の中から選んで記号で答えなさい。

●P.108

第6回 天体 レベルC 例題解説 1 (問6)

(誤) 金星と地球との公転する速さの角度の差を求めると、

$$\text{地球} = \frac{360\text{度}}{365\text{日}} \quad \text{金星} = \frac{360\text{度}}{225\text{日}}$$

地球と金星との差が360度になると金星が地球に並ぶこととなります。

$$360 \div \left( \frac{360}{225} - \frac{360}{365} \right) = 586.61\dots(\text{日})$$

1年が365日なので、 $586.61 \div 365 = 1.607\dots$ 四捨五入して答えを出します。

(正)地球は1年で1周公転し、金星は1年で $\frac{365}{225}$ 周公転します。よって、地球と金星は1年

間で  $\frac{365}{225} - 1 = \frac{140}{225}$  (周) の差が開きます。再び一直線に並ぶのは、差が1周になったとき

なので、 $1 \div \frac{140}{225} = 1.607\dots \rightarrow 1.61$ 年後になります。

**「ウイニングステップ小学6年理科①生物・地学 改訂新版」**

ISBN 978-4-8403-0398-9